



ニュースレター あすか

2013
5月号

通算 242号

2013年5月10日

しゅりあちよーくでは現在、大改修工事に取り組んでいます。5月6日、第一期工事として浴室とトイレなどの改修が終了しました。いつまでも、どんな場合でも、すっきり排せつしてほしい、ゆつくりお風呂に入ってほしいそんな熱い思いをたくさん込めて作りました。トイレは、人間の体の仕組みに沿った移乗の動作や排せつ姿勢ができるよう。お風呂は、肩まで湯船につかって「いい加減」と思っていただけのために。そしてお風呂が裸の付き合いと称される「社交場」となるように、様々な工夫を行いました。(介護総合研究所元気の素 上野文規先生に監修をいただきました。)

ゴールデンウィークを使つての突貫工事でしたが《思い通り》の「作品」が出来上がりました。これからは、新しい浴室やトイレを最大限活用して、質の高い排せつケア・お風呂のケアを展開できるよう、そして『あすか介護方針・5カ条』を、きちんと利用者様にお手渡しできるように、職員全員でさらに技術を磨いてまいります。

(保田和彦)



しゅりあちよーくが生まれ変わります!!
NOW!!



広々使えるトイレ



ゆつたりできるお風呂



“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103
広島市安佐南区
緑井2丁目12-25
TEL:082-879-3143
FAX:082-879-3190



当法人は、
ISO9001の認証施設です

【目次】

【ページ】

- 1. しゅりあちよーくNOW!!..... 1
- 2. あすかの施設管理..... 2
- 3. あすかの施設管理(続き)..... 3
- 4. あすかの人物クローズアップ
- 5. あすかのお花見..... 4
- 6. あすかのお花見..... 5
- 7. 作品紹介(野ばら)..... 6
- 8. 若竹句会 4月作品..... 7
- 9. 継続は宝なり(最終回)
- 10. あすか交流会のお知らせ..... 8

あすかの 施設管理



施設管理室室長
おおきた ひろあき
大北 博章

前回に引き続きお話をさせていただきます。前は医療法人あすかの施設の消防設備についてお話ししましたが、今回はその設備を有効に使用する、自衛消防訓練についてです。

自衛消防訓練は、火災発生時に消防隊が現場に到着するまでの間、効果的な消防活動ができるよう熟練しておくことを目的としています。火災という異常事態の中で迅速かつ的確な行動をとることができるようにするために、火災時の一連の活動を繰り返し、身体に覚えさせておくことが大切です。

訓練は、通報訓練、消火訓練、避難訓練、総合訓練(前記の訓練を一連の流れとして総合的に実施)に分けられ、事業所の用途等によって年間の回数が定められています。特定防火対象物(医療法人あすかの施設では、あすか療養センターが該当します)では消火訓練及び避難訓練を年2回以上、通報訓練を年1回以上、また、非特定防火対象物ではそれぞれ年1回以上定期的に実施する必要があります。

訓練は、建物の用途特性や、規模、構造、収容者の状況、勤務人員等の実態にあつた想定のもとで行うことが大切です。

それでは訓練の流れを説明します。

1. 火災の発見を発見したら、何よりも大切な事は出来るだけ早く消防署に通報する事です。各施設には自動火災報知設備がありまですので、平素からすべての職員がその設備の取り扱い方を知っている事が大切です。

◆自動火災報知設備等から大きなベル音が鳴り、地区表示ランプが点灯した時



防災監視盤

①点灯した受信機の地区表示灯の場所と警戒区域一覧図を照合して確認し、現場にかけつけます。この時、受信機の周囲に複数の勤務者がいる場合は、その場に1名残しておきます。また、現場付近に人がいる場合は、自動火災報知設備の非常放送または電話で現場を確認してもらい、火災の場合は即消防署に通報します。

②受信機の地区表示灯が複数表示されたとき、または自動火災報知設備とスプリンクラー設備が前後して作動した場合は、原則として火災と断定して、即消防署に通報します。

③現場に急行する際は、消火器、懐中電灯、マスターキー、自動火災報知設備の送受話器(あすかでは、1つにまとめて携行出来るように用意しています。)を携行します。

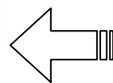
④現場の確認に当たっては煙や炎が見えない場合でも、ダクトスペース、

電気配線スペース等も見落としのないよう(漏電などによる事もあるのに臭いにも注意する。)に点検します。

⑤現場確認者は、電話等を利用して確認結果を自動火災報知器の前で待機しているものに報告します。



スプリンクラー設備の扉を開けると...



スプリンクラーの制御弁があります

◆人為的に発見した場合

①大声で周囲に火災発生を知らせるとともに、非常ベルのボタンを押し、即電話で消防署に通報する。付近に人がいる場合は、通報、連絡、初期消火、避難誘

導の消防活動を指示します。
 ②人がいない場合は直ちに119番通報をします。

2. 通報・連絡

消防機関への通報は、火災の内容が十分把握できていない段階でもまず通報し、状況が確認でき次第随時情報を通報します。これと同時に、事業所内及び関係者への連絡も併せて行います。また消防機関への通報は所在地、建物名称、火災の状況等を的確に伝えます。

3. 初期消火

消防機関への通報は、火災の内容が十分把握できていない段階でもまず通報し、状況が確認でき次第随時情報を通報します。これと同時に、事業所内及び関係者への連絡も併せて行います。また消防機関への通報は所在地、建物名称、火災の状況等を的確に伝えます。

4. 避難誘導

避難誘導については出火階等の原則や出火場所や火災の程度、煙の拡散状況、消火活動の

実施状況等によって総合的に、かつ短時間で判断しなければなりません。判断基準、搬送方法等については訓練時にお話しします。

以上、流れをお話しましたが、幸い医療法人あすかの施設は消防署に非常に近いので、通報・連絡、初期消火をきつちり行えば、直ちに消防隊が到着します。何よりも大切な事は、防災に対する意識と取り組みです。利用者様の安全・安心を自分たちで守るといふ強い意志を持つて職員一丸で取り組んでいきます。



【お詫びと訂正】

4月号の『おもしろきかな我が人生』のコーナーで木村貴美江様の生年月日が間違っていました。正しくは大正11年2月26日（91歳）でした。お詫びして訂正いたします。

あすかの人物 クローズアップ 【第1回】

第1回目は、つどいの家の音楽プログラム『つどいの広場』の講師・國森鈴子さんにスポットをあてて、お話を伺います。

歌ってレクリエーション

小規模多機能型居宅介護事業所つどいの家の開設と共に、「歌を楽しみながら井戸端会議」をコンセプトに利用者の皆様方と楽しみながら歩んできました。

童謡、唱歌、歌謡曲、軍歌・・・今や歌詞ファイルは200曲近くなっています。なるべくフルコーラスで声の出しやすい音域で、歌うことを楽しんでいたという音域に心がけています。唱歌を歌っては、日本語の美しい表現、昭和の歌謡曲の奥ゆかしい表現など、詩の解釈で話が広がっていくことも、度々あります。

つどいの家で月・金、あすか療養センターでは各フロアで火・木・土と皆様と過ごしております。

2年前の東日本大震災後は応援の気持ちが届くようにと、ZARDの『負けないで』を歌うことに挑戦していただき、スタッフの力を借りながら1年間歌いまし



た。今年はSMAPの『世界に一つだけの花』に挑戦しています。

毎回、プログラムの最後には『幸せなら手をたたこう』の特別バージョンで盛り上げていただき、笑って笑って終了します。

利用者の皆様が戦前・戦中・戦後と過ごされてきた時代の移り変わりの苦労話や、リハビリに頑張っておられる姿に勇気をいただいております。

これからも歌って、笑って過ごしましょう。





* 野の花 *

4月4日

今年のお花見は、広域公園へ行きました。とても良い天気で

暖かな日差しの中、満開の桜の下でゆっくりとした時を過ごしました。「まあ

あすかの お花見

～見事なだけ桜じゃね」「私みたいにきれい(笑)」など笑顔・笑いの絶えないお花見となりました!

昼食は広域公園近くの『田舎茶屋わたや』でお食事をしました。みなさん、「私はこれ!」とメニューを見てお一人おひとり選ばれ、「美味しい!あなたのも美味しそうね～」と楽しく美味しくいただきました。

(森原幸代)



4月2・3・4日

* つどいの家 *

日本人にとって桜は特別の花。例年より早い桜の開花に、つどいの家では月初めの4月2・3・4日と3

組に分かれて、それぞれのご希望の場所に、お弁当を用意してお花見に出かけました。2日は緑化センターへ。3日は安佐動物公園の周りの桜並木をドライブし、交通科学館へ。4日はせせらぎ公園でお花見を楽しみました。

2日は雨が降ったため外での食事はできませんでしたが、「雨の桜もとてもきれいよね。」と古市様。「あそこにもお花が満開!あっ、ここにも満開の花が・・・。」と稲田様の弾む声!!



車の中で桜を楽しみました。

3日は安佐動物公園の前の桜のトンネルをくぐったあと、交通科学館へ向かうコースです。電車の運転手をされていたという、日ごろ口数が少ない小田様ですが、交通科学館に展示されていた宇品行の電車を見るなり「この電車に乗りよったんでー!でも、新しい電車には乗らせてもらえなかったんよ。」と話してくださいました。男性陣はお弁当を広げるなり、「ビール♪ビール♪」とノンアルコールビールで乾杯し、宴会が始まりました。「わしは、日本酒!日本酒ないん?」と八尾様…。みなさんの笑顔がはじけ、楽しい楽しいお花見でした。



4日はせせらぎ公園へ。職員が荷物をだすのに手こずっていると、河内様と仁田様が「私たちの事は後でいいから、ゆっくりしなさい。焦りんさんな。」と、優しく声をかけてくださいました。3日間それぞれ楽しい思い出となったお花見でした。5月は新緑ドライブですね!

(竹村和哉 渡上静栄)

* ショートみどりい *

4月14日

ショートステイみどりいの利用者様の中には、外出することが難しい方がいらっしゃいます。しかし今年、気分だけでもお花見を楽しんでいただこうと、施設内でお花見パーティーをしました。

厨房で心をこめて作ってもらったお花見弁当を広げ、まずはノンアルコールビールで乾杯!「ビールなんて久しぶりに飲んだよ」「なんだか酔っちゃいそうね」と会話が弾みます。色とりどりに盛り付けられたお花見弁当

に「食べるのがもったいないくらいきれいだね」「おいしい

ね」と、みなさんの顔は笑顔いっぱいでした。普段は食が細い利用者様も、「とてもおいしかったよ」と完食されました。

笑顔いっぱいお花見パーティーに至福の1日を過ごしました。

(大村まい)



* 野ばら * 4月4・5日

野ばらでは、事前に職員が下見した沢山の桜スポットを巡りながら、花緑公園までお花見に出掛けました。天気は快晴！桜も満開！絶好の行楽日和に皆様的心もウキウキです♪厳選した沢山の桜スポットを巡るドライブでは、なだらかな山の斜面一面に広がる桜の美しさに「ウァ～きれい！」と何度も感嘆の声が上がります。花



緑公園に到着後は、待ちに待ったお弁当の時間♪二段折りのお弁当には、桜ごはん・たらの芽の天ぷら・筍の土佐煮・春野菜の和え物等、春の味覚がいっぱいです。「おいしい～」と思わず笑みがこぼれます。

その後、花緑公園内を散策。花緑公園はその名の通り【花】と【緑】に溢れた公園です。公園内には桜だけでなく、山ツツジ・雪柳やレンギョウ・・・数々の花が色とりどりに咲いていました。“春”を満喫した今回の外出、皆様の頬は桜色に紅潮し、終始楽しい笑い声と笑顔が満開でした♪

(深川智美)



* まやるちょーく * 3月31日

まやるちょーくでは3月31日に神田山荘へ行ってきました。この日はお天気も良く、絶好のお花見日和！神田山荘へ行く途中にある桜も満開で、「きれいじゃね～」と利用者様も車から見える桜に笑顔しておられました。神田山荘ではまずノンアルコールビールで乾杯～!!そして、ちらし寿司、うどん、揚げだし豆腐、茶碗蒸し・・・などの豪華な御膳をいただきました。その後は介護スタッフ&運転手総出の銭太鼓による『花笠音頭』の熱演・・・利用者様から大喝采をいただきました。

そして本日の特別ゲストは民謡講師である正木先生めいそうにほんごう。『名槍日本号』の舞や『土佐おけさ』の浪々たる美声にみなさん聴き入っておられました。「花見は毎年楽しみにしとるんよ」「今年も行けて良かった」などたくさんうれしい感想をいただきました。みなさんの笑顔に私たち職員もたくさん元気をいただきました。4月28日には“【春の宴】～バラコーズ～”もあります。そちらでもみなさんと楽しい時間を過ごせるよう、企画をしています。楽しみにしててくださいね！

(愛美)



素敵な作品をご紹介します！

作品介绍

野ばら編

野ばらでは、利用者様と職員が一緒になって、毎月季節にあった共同作品を制作しています。今年の1月から4月までの作品をご紹介します。



1月 迫力満点の富士山です



2月 かわいらしい子鬼たちです



3月 華やかな着物ですね



4月 豪華な夜桜ですね



若竹句会 四月作品抄 信廣高陽 選（平成二五年）

あああった わらびがあった ごちそうだ 綿谷カツエ
 〔寸評〕蕨（わらび）は羊歯（しだ）の類で、春に先駆けて日当たりのよい山野や芝山に萌え出る。あくを抜いて、煮わらび・わらび汁・わらび飯などにして食す。葉が開いて羊歯が形を整えてくると春も深くなくなる。この句、待ちに待った春の訪れ、わらびを見つけた喜びを童話に出てくるようなリズムのよい五七五にまとめました。

音立てて 華やぐ庭は 落椿 松村キミエ
 〔寸評〕原句の上五は「とつぜんに」となっていました。椿の自己主張は「音立てて」にしたほうがより具体的で、おだやかな表現になると思います。

木瓜の花 ここに咲いたと 揺れもたり 西 富枝
 〔寸評〕晩春の季語「木瓜の花」は中国原産、全国各地で親しまれている花木で、枝にはどげがあり、三、四月頃、赤又は白の五弁花が枝上にかたまると咲きます。原句は、下五が「主張する」となっていました。俳句の言葉としてはどうかと思いますので「揺れもたり」としました。

つくしんぼ 誰を待つやら 土手に立つ 河野 一枝
 〔寸評〕早春の土手に頭を出したつくしんぼ、「誰を待つやら」で擬人法に挑戦しました。若かりし頃を思い出して、つくしんぼにデートさせましたね。上手です。

餌付けして 競い来る鳥 桃の花 西 トシ子
 〔寸評〕餌付けして飼いなしたかわい小鳥、晩春葉に先立って咲き始める淡紅色のひなびた桃の花―のとり合わせの一句ですね。餌付け、という動物愛護と上品な桃の花の取り合わせが上手です。

〔選者 吟〕

表札に ずらりと子の名 小鳥来る 信廣 高陽

継続は 宝 なり 第10回 (最終回)

やってみようかな、これならできそうとイラストを見て、簡単に体を動かしたくなるようなものでも、やってみると意外に難しかったり、以前はできていたのにということはありませんか？今回は、身近なタオルを使って、日常生活の動きに着目したいと思います。 ポシブル所長 榎本弘子

【やり方】

- ①手を背中に回してタオルの両端を持つ。
 - ②お風呂で背中を洗う要領で上下に動かす。肩に痛みのない方、余裕のある方は、上になっているほうの手をまっすぐ頭の上から抜くように動かす。
- ※難しい方は、長めのタオルを使用したりして、肩の痛みのない範囲で行ってください。



効果

- 肩の柔軟性の向上⇒五十肩、四十肩予防
- 肩甲骨の動きの改善⇒姿勢改善
- 上腕三頭筋の筋力アップ⇒二の腕の引き締め

最初は無理なく左右5回ずつくらいから始めてみましょう。お風呂で背中を洗う時にされてもかまいません。



第60回あすか交流会のお知らせ

日本の高齢化率は今年25.2%で、4人に1人が65歳以上となり、「超高齢社会」を迎えています。高齢になるほど認知症の人の割合は高くなり、85歳以上では約4人に1人が認知症であるといわれています。このように認知症は特別の病気ではなく、誰がかかってもおかしくない病気です。あすかのサービスをご利用の方にも、多くの認知症の方がおられます。私たちは認知症という病気になっても、明るく当たり前の生活が地域でできるようにケアを行っております。私たちの目指す認知症ケアをご家族と一緒に共有したいと思い交流会を企画いたしました。また、ご家族とスタッフとの情報交換のための時間も設けています。是非ご参加ください。

テーマ：『認知症の理解とケア』

～認知症になっても地域で当たり前の生活を～

日時：平成25年7月6日(土) 13:00～15:00
(受付12:30 開会13:00)

場所：ポシブルみどりい(ハイタウン神宮山壺番館1階 緑井3丁目20-1)

ご出席希望の方は**6月20日(木)まで**に申込書をご利用されている事業所の職員、またはあすか居宅介護支援事業所ケアマネにお渡しください。電話での申し込みも受け付けております。
あすか居宅介護支援事業所 TEL：082-830-5177



～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

【編集者のつぶやき】
『おかしくって♪おかしくって♪』
連休中の菓子博はものすごい人でしたね。広島では92年ぶりの全国菓子大博覧会だったそうですよ。せっかくだからと思いついて、記念に行ってみたものの、どこに行っても人・人・人…笑 並ぶだけで疲れちゃいました。次の広島は何年後になるんだろう!?

医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20-1-103

あすか居宅介護支援事業所
082-830-5177

あすか病児保育室

緑井3丁目20-1-102

リハビリデイ・ポシブルみどりい

緑井2丁目12-25

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
通所リハビリテーション すてっぷ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24-16

デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門クリニク
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花